

# 新はやま

あけまして  
おめでとうございます

今年は一斉地方選挙と参議院選挙の年  
本気の野党共闘で安倍政権に退場を  
共産党の前進で住民要求の実現を

葉山町では二子山山系自然保護協議会に参加する団体など、里山保全に関わる様々なボランティア団体が活動しています。こうした団体の、それぞれのやり方を生かして自然保護に役立てれば更に葉山の魅力を高めることになります。

自然環境は放置していては、荒れるばかりです。私有地も含めて守っていくには、人の手を入れることが必要です。

里山保全、自然保護事業を進めるために、町内で活動する団体の力を結集して共に行動する行政の知恵と力が求められています。

また、旧役場跡地の活用について、住民から様々な利用法が提案されていますが、町全体の利益となるような方法を考えなければなりません。それに

は、住民の声をどのように生かすかが重要です。

残念ながら、町の学校給食センター計画では、関係者への説明もなく行政

先行で進められ、後手後手の対応となり手直しを繰り返しています。

同様に「魅力を高める事業」についても、地元住民への説明もないまま事業に入ったため問題となり、新たに棚田を作る計画が中断、変更を迫られています。

どんな事業も事前に十分住民の声を聴き、反映させることなしに成功しません。

これまでの、住民の声をただ拾って行政主導で進めるのではなく、住民の声を生かす住民参加型の「協働」のまちづくりを進めることができます。

葉山町に求められています。

改定の一部は消費税

10%引上げを前提にして

おり、議会は、今まで

に2度、「消費税増税」

反対の意見書を出し、6

月にも全会一致で提出し

ています。

この議案は、消費税増

税の決定を前提としたも

ので、議会意思を無視し

た提案と考え反対し、委

員会では否決となりまし

たが、本会議では賛成多

数で成立了。

この議案は、消費税増

税の決定を前提としたも

ので、議会意思を無視し

た提案と考え反対し、委

員会では否決となりまし

たが、本会議では賛成多

わたしもひとつこと

## 水道法改悪に不安

日本でなく他の国でよくあります。水道水は安心して飲めないの  
で市場で旬のおいしそうな果物を  
買つても、ペットボトルの水で洗  
わないと食べられません。私の友  
人には、現地で野菜サラダを食べ  
て（水道水で洗つたまま出される  
ので）体調を崩した人や、ジュー  
スに入っている氷を食べておかし  
くなつた人もいます。

国鉄は民営化してJRになつてから、事故も増え、料金も上がりました。郵政民営化によつてサークルバスの切り下げも出てきています。

最近 岩手の雪石町で 民間会社が管理運営する水の供給停止があり、大問題になりました。経営悪化で、費用の追加負担を利用者に求め、水道料金は4倍になると いうことです。

日本では水道の蛇口をひねるだけで安心して水が使える、と思つていたのに、今回の改定水道法成立で、とても心配になりました。

民営化されると、当然利益が優先されます。「経営効率化」の名のもとに、安全性が後退する恐れがあります。



**猪退治で終わらせずに**  
今年は猪年です。葉山にも猪が増え、農作物が被害にあっています。本来なら、人も動物も平和に共存できたら良いのですが、こ

なものです。老朽化した施設の更新などは、公的資金で行うべきもののです。災害や事故で断水した時も、何よりも住民への給水を確保すべきで、民営化すれば、その点でも不安です。

海外では、民営企業の破綻から水道事業の再公営化が広がつていいとするそうです。世界のすう勢に逆行することなく、災害にも対応できる安全な水道事業を発展させるために、国が責任を果たすべきだと

卷之三



堀内 k さと

こうした国民不在の強行政治に対抗して、野党の国会共闘が前進している。

者や下請け業者に合理化を押し付け、地域経済を破壊してきたその手法を、14億円のリストラ減税や一千億円を超す公的資金を投入して、後押ししてきた政府、自民党

野党合同ヒアリング<sup>163</sup>を行わ  
れ、入管法問題では技能実習生か  
ら聞き取った実態が衝撃を与えた



object\_id = 13481591

## 安倍政権の退場で

日本再生

昨年末、安倍首相が自民党総裁に3選されて初の臨時国会で、外国人労働者の使い捨て労働をさらにひどくする改定入管法、浜を企業の餌食にする改悪漁業法、安全な水道事業を民営化で危険にさら

す改悪水道法、日本農業を破壊する日欧EPA（経済連携協定）が強行採択された。どの法案も、議会制民主主義に反してまともな審議もなく、改定入管法では審議の基礎となるデータの偽装が明らかになる中での強行で、尋常ではない。

さらに昨年は、カルロス・ゴー

ン日産自動車会長が逮捕され注目されている。会長自らは巨額な報酬を得ながら、大規模なリストラやコスト削減で見せかけの利益を上げ、リコールや検査不正など安全軽視に至った日産自動車。労働者や下請け業者に合理化を押し付けて、地域活性化を皮裏にてこぼす。

け、地域経済を破壊してきたその手法を、14億円のリストラ減税や1千億円を超す公的資金を投入して、後押ししてきた政府、自民党利益第一の財界中心政治の先に、国民の幸福はない。

こうした国民不在の強行政治に

対抗して、野党の国会共闘が前進している。

財界中心、米国追従の安倍政治では、どの問題も国民に犠牲を強いるばかりだ。

毎年社会保障費を削減しながら「社会保障のため」という口実で法人税減税で減収の穴埋めに使われてきた消費税。

平和と命と暮らしを守るために  
今年こそ国民と野党共闘の力で、  
安倍政権を退場させよう！

また、野党議員が力を合わせて、政府が提出を拒んだ聴取票を書き写した結果、実習生の過酷な実態と、政府がそれを都合よくごまかしてデータを偽装したことを見た。